

民主島根

2024年
10.6
第1457号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

総選挙 活動のギアチェンジを 再稼働とめる議席必ず

松江 大平 衆院比例、むらほ 衆院1区ら参加し決起集会



決意を固め合う大平(右から4人目)、むらほ(その右)の両氏ら (松江市)

日本共産党東部地区委員会では9月21日、大平よしのぶ衆院中国比例予定候補を迎え、松江市で決起集会を開きました。大平氏は、中国電力が再稼働(12月)を狙う島根原発2号機は中国地方最大の国政課題だと述べ、「共産党の比例議席獲得で2号機再稼働とめよう」と強調。むらほは「この衆院島根1区予定候補は自民党政治を変える党の政策を訴え抜いてたかく決意を述べました。今秋、来春の地方議員選挙に挑む予定候補(6人)も決意表明。向田聡地区委員長は「比例を軸に」を貫いて議席を奪還しよう」と訴えました。



ケア労働者を前に訴える大平氏(奥中央)と亀谷氏(その左) (出雲市)

出雲 ケア労働者集い
大平、亀谷両氏が参加
大平氏は同日、亀谷ゆう子衆院島根2区予定候補らと一緒に、出雲市で開かれた「医療・介護・保育の未来をひらくケア労働者の集い」(党中部地区委主催)にも参加。「ギリギリの人員で介護現場はピリピリしている」「災害時などで子どもをまっすぐ届ける議席を勝ち取らなければならぬ」と決意を述べました。

尾村県議の一般質問

2号機再稼働 県民合意ない

尾村県議は、12月予定の中国電力島根原発2号機の再稼働について、中電の運転の安全性に疑念が生じ、適正運転が担保できない際には「適切措置要求権」を発動し、原子炉停止を判断するよう丸山達也

の命を守り、豊かな保育を確保するためにも配置基準と処遇の改善が必要」などの現状が語られ、大平氏は「国政が後押ししなければならぬ。みなさんの声をまっすぐ届ける議席を勝ち取らなければならぬ」と決意を述べました。

9月県議会の論戦から

日本共産党の尾村利成県議は9月19日に一般質問に、大田陽介県議は9月26日に一問一答質問を行い、知事や執行部などを質しました。(2面に続く)

大田県議の一問一答

自衛隊にも就職ルール順守を

大田県議は、子どもや保護者が知らないところで、市町村が自衛隊に対し、募集対象年齢に当たる18

歳、22歳の住民らの個人情報を提供している問題を取り上げました。森本敬史防災部長は県内19市町村のうち、紙媒体による名簿提出が5自治体、閲覧が14自治体だと説明。大田氏は、情報提供自体、法的根拠が薄弱だと指摘した上で、本人が望まない情報提供が行われることがないよう、除外申請の周知など必要な対応を求めました。

措置を中電に求めていく」と答えました。尾村氏は「国は原発推進、中電は利益最優先。事故が起きてからでは遅い。12条は県民の命を守る条文であり、県が毅然と対応すべき。県民合意のない再稼働は許されぬ」と主張しました。

島根県民主医療機 関連合会(眞木高之 会長)は9月19日、 中島謙二県議会議長 に対し、島根原発2 号機再稼働中止を求 める請願書を提出し ました。(写真)

患者避難に責任負いきれない 眞木会長らが中島県議会議長に請願提出

島根民医連

本会長ら3氏は「複合災害で発生した傷病者に対応しながら入院患者に安全に避難してもらおうことができるのか。責任を負いきれない」「原発を再稼働させないことが一番命と安全を守ることになる」と訴えました。請願の紹介議員は日本共産党の尾村利成、大田陽介の両県議、民主市民クラブの白石恵子、角智子の両県議の4氏。提出には尾村、大田の両県議が同行しました。

森本防災部長は、県内で除外申請の実績はないと述べ、「望まない人への配慮として、他県の取り組み事例を紹介するなどして取り組んでいく」と応じました。大田氏は、自衛隊が市町村から得た個人情報をもとにダイレクトメールを送付するなどの勧誘活動や、今年7月以降、県内各地で家庭への訪問活動が行われていると告発。その上で、厚生労働省・労働局が新規中学・高校卒業生について家庭訪問による求人活動を禁止していることを示し

「自衛隊であっても、高校生の就職ルールは順守し、是正するよう強く申し入れるべきだ」と迫りました。野津建二教育長は「公務職場へのルールの周知、是正指導のあり方について、関係機関との会議の場で協議したい」と答弁しました。

